

10日間の
特別祈禱

【4日目】聖霊のバプテスマ



【テーマ聖句】

「そして、彼らと食事を共にしていたとき、こう命じられた。『エルサレムを離れず、前にわたしから聞いた、父の約束されたものを待ちなさい。ヨハネは水で洗礼を授けたが、あなたがたは間もなく聖霊による洗礼を授けられるからである。』」(使徒言行録 1:4, 5)

2020年1月11日(土)

【証】

「あなたが聖霊のバプテスマを受けるとき、あなたはこれまでの人生で最も深く救いの喜びを理解することでしょう」(エレン・G・ホワイト書簡集 第5巻(英文) 231頁)。

不治の病に冒された方を訪問したときのことで、祈りつつ、神の愛と慈悲をもってその方を励まそうと努めましたが、その家を去る時には、多くのクリスチャンが感じるように、自分の無力さに打ちのめされます。初代教会のクリスチャンと、わたしを含む現代のクリスチャンの働きを比較するとき、二者の間には圧倒的な違いがあるように思えます。この訪問の後で、わたしは聖書に示されている「聖霊」について熱心に学んでみようと思えました。結果として、わたしは聖書の働きに直接言及している二七三もの聖句を見出すことができ、またエレン・ホワイトの書簡の中にも「聖霊」についての引用が二千以上もあることを発見したのです。

聖書研究の中で、わたしは聖霊のバプテスマには偉大な力が伴っていることを発見しました。この力こそが、ペテロ、パウロ、そして聖霊を受けたすべての人々を造り変えたのです。イエス様も聖霊によって力を受けられました。聖霊が鳩のように降るまでは、イエス様も一人の大工職人に過ぎず、聖霊を受けた後に、彼は大胆にメシアの働きをはじめられたのでした。このように聖書物語の中には、聖霊の力が明らかに注がれたことを示すいくつもの証拠を見つけることができます。

金曜日の夜十時頃、妻が八歳になる娘の部屋に行ってしまったので、わたしは祈るために書斎に戻りました。いつものように祈りはじめると、イエス様の神聖なご臨在を感じたのです。わたしは特別に、聖霊の力強い導きを祈り求めました。すると祈りの中で、主はいくつかの幻をわたしに見せられたのです。

最初の幻では、イエス様がわたしの教会の玄関にお立ちになり、教会員一人ひとりの肩に、くぎで刺し貫かれた手を置いておられます。イエス様はわたしのほうを振り向くと「わたしの民を愛していますか？」とお尋ねになりました。もちろん愛しています、と答えることはできましたが、心から愛せない人々が何人かいることも認めなければなりません。わたしが自分の罪を告白すると、ほほを涙が流れて流れました。

再び幻の中で、毎週説教している講壇に、イエス様がくぎで刺し貫かれた足で立っておられるのを見ました。イエス様は「わたしは世の人々の罪を赦し、彼らを救うために命を捧げました。あなたは失われた魂のために、情熱をもって毎週福音を説いていますか？」とわたしに問われました。失われた人々を救うために、熱心に福音を説くことこそがわたしの願いです、と答えることもできましたが、わたしは主の働きにふさわしい福音宣教者ではないことを強く自覚しました。イエス様に自分の罪を告白すると、再びほほを涙が流れました。

今度は、主の額の上にはばらの冠が押し付けられているのを見ました。イエス様は「わたしは十字架の死に至るまでへりくだりました。それでもあなたは人々からの称賛を求めますか？」とわたしに問われたのです。人々からの称賛など求めません、と答えることはできましたが、自分が牧師としてのプライドに苦しんでいるのを認めないわけにはいきませんでした。わたしは主のご臨在にふさわしい者ではなく、救いがたい者であることを自覚し、涙がとめどなくあふれてきました。すると突然、イエス様はご自身の衣を脇に引かれました。そこには槍で刺し貫かれたわき腹の跡が見えました。イエス様は「わたしのもとに来る者をわたしは決して放り出すことはしない」と言われたのです。

わたしはこれまで一度も経験したことのない主の完全な愛と受容を感じました。わたしは自分の罪が

赦されたこと、そして自分が受け入れられていることを知りました。妻が階下に降りて行く音を耳にしましたが、そのあともしばらく黙示録のみ言葉を読み続けました。ふと時計を見ると夜中の十二時を過ぎていました。二時間があっという間に感じられました。

書齋で起きた出来事を十分に説明できる自信がなかったので、わたしは静かに寝室に戻りました。部屋に入ると、妻が「何かあったの？」と尋ねました。「どういう意味？」とわたしは聞きました。彼女は「何かあったのは、あなたの雰囲気わかるわ。何があったのかわたしにも話してほしいの」と言いました。そこでわたしは書齋で起きたすべてのことを妻に話しました。最後まで聞き終わった彼女は、自分も一人で祈りたいと言って居間に降りていきました。彼女もまた神様の祝福を受け取ることができるように、その夜真剣に神様に祈り求めたのです。

翌日は安息日でした。礼拝のメッセージを語っている最中に、わたしは主のご臨在を強く感じました。その日、礼拝に参加していた数名の人々がキリストを受け入れる決心をしたのです。教会員の一人が「先生、昨日何かあったのですか？」とわたしに尋ねました。驚いたわたしは「どうしてそう思うのですか？」と尋ねました。彼は「説教している間中、先生の顔が輝いているのを見たのですよ。何かあったに違いないと思いました」と答えたのです。そこで、昨晚起きた出来事を教会員全員に話した時、彼らは「間違いなくイエス様が先生を訪ねてくださったのだ」と言いました。

その年、なんと三七名がイエス様に生涯をおささげする決心をしたのです。あの特別な夜から今日に至るまでに、わたしの教会では数百名の人々がキリストを信じる決心をしました。主イエスのみ名が永遠にほめたたえられますように！

【祈りについての聖句】

ルカ 3:21、22

イエス様はバプテスマを受けられたのち、聖霊の降下を祈り求められました。

使徒言行録 1:5～8

聖霊の注ぎを受けるときに、あなたは力を受けます。

使徒言行録 2:1～4

彼らは聖霊に満たされて、いろいろの他国の言葉で語りだしました。

使徒言行録 4:31

使徒時代の教会は、御霊の注ぎを祈り求めたときに御力を受けました。

使徒言行録 8:15～17

彼らは主イエスの名によって水のバプテスマは受けていましたが、聖霊を必要としていました。

ルカ 11:11～13

聖霊のバプテスマは、主に祈り求める者に与えられます。

使徒言行録 5:31、32

喜んで主に従う者に聖霊は与えられます。

【祈りの提案】

- 親愛なる父よ、どうか聖霊によるバプテスマを与えてくださり、豊かな実りを携え、あなたのみ栄のために愛の道を歩むことができるようにお導きください。
- 主イエス様、世にあなたを現すことこそわたしの願いです。聖霊を受けることができるようにわたしの心を備え、わたしの生涯においてあなたの愛を人々に分かちことができるようにお導きください。
- どうか、すべての真理へとわたしをお導きくださり、わたしがあなたのまなざしの中で、あなたに喜んでいただけることを常にすることができるように助けてください。どうかわたしが何を学び、何を教えることをあなたが願っておられるのかお示しくくださいますように。わたしの確信や働きがあなたからのものであり、自分中心な思いからでないように助けてください。
- 信仰から離れたわたしたちの愛する者が、改めて主と交わることがどれほど喜びに満ちたものであったかを思い起こし、もう一度あなたと一体となることを望むようにわたしたちは祈り続けます。彼らがあなたの愛と赦しを受け入れることができるように助けてください。
- 主よ、危険な場所で献身している宣教師たちの上に、あなたの守りがあるようにわたしたちは祈り求めます。
- わたしたちは南太平洋支部の少なくとも6都市に住む 1600 万人の人々を覚えて祈ります。教会員の上に日ごとの聖霊のバプテスマが授けられ、福音が届けられていない人々に、彼らが愛をもって福音を届けることができるようにお祈りします。
- 北アジア太平洋支部にある最も伝道が進んでいない 105 の都市に住む4億6百万人の人々に、どのようにして福音を届けることができるか、その方法を示してくださるよう、聖霊の助けを祈り求めます。
- アドベンチスト・チャプレンによる宣教が、チャプレンの働きや関心をもつ教会員を動機づけ、囚人にも働きかけることができるように祝福してください。
- わたしたちは個人の祈りのリストに記された7名、あるいはそれ以上の方(可能な場合は名前をあげて)を覚えて祈りたいと思います。
- 各教会の祈りの課題を追加してください：

【讃美歌の提案】

「神の息よ」(『希望の讃美歌』106 番)など、『希望の讃美歌』中の『聖霊なる神』の項目から、各教会でふさわしい曲を選曲してください。